

要 旨

試験委託者 環境省

表 題 N, N-ジエチルアニリンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する
急性遊泳阻害試験

試験番号 No. 2008-生40

試験法ガイドライン

本試験は、厚生労働省医薬食品局長、経済産業省製造産業局長、環境省総合環境政策局長連名通知「新規化学物質等に係る試験の方法について」（薬食発第 1121002 号、平成 15・11・13 製局第 2 号、環境企発第 031121002 号、平成 15 年 11 月 21 日、平成 18 年 11 月 20 日改正）に従って実施した。

- 1) 被験物質 : N, N-ジエチルアニリン
- 2) 暴露方式 : 止水式（密閉系）
- 3) 供試生物 : オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間 : 48 時間
- 5) 試験濃度（設定値） : 対照区, 2.5, 4.0, 6.3, 10, 16, 25, 40 mg/L
公比 ; $10^{1/5}$ (約 1.6)
- 6) 試験溶液量 : 100 mL/容器
- 7) 連数 : 4 容器/試験区
- 8) 供試生物数 : 20 頭/試験区 (5 頭/容器)
- 9) 試験温度 : 20 ± 1 °C
- 10) 照明 : 室内光、16 時間明/8 時間暗
- 11) 給餌 : 無給餌
- 12) pH : 試験溶液の pH 調整は行わなかった。
- 13) 分析法 : HPLC 法

結 果

予備的な検討において当該被験物質については揮発性が認められたことから、暴露期間中の濃度維持を目的に密閉系で試験を行った。

1) 試験溶液中の被験物質濃度

暴露期間中の被験物質濃度は、揮発による軽度の減少が認められた。従って、各影響濃度（50 % 遊泳阻害濃度、0 % 遊泳阻害最高濃度、100 % 遊泳阻害最低濃度）の算出に当たっては、暴露開始時および暴露終了時の測定値の幾何平均値を採用した。

2) 24 時間暴露後の結果

50 % 遊泳阻害濃度 (EC ₅₀)	:	13 mg/L
		(95 % 信頼限界 : 11 ~ 15 mg/L) , Probit
0 % 遊泳阻害最高濃度	:	6.0 mg/L
100 % 遊泳阻害最低濃度	:	24 mg/L

3) 48 時間暴露後の結果

50 % 遊泳阻害濃度 (EC ₅₀)	:	11 mg/L
		(95 % 信頼限界 : 9.4 ~ 12 mg/L) , Logit
0 % 遊泳阻害最高濃度	:	3.8 mg/L
100 % 遊泳阻害最低濃度	:	24 mg/L